

Life & Sound Concert

Peace in UKRAINE

Tetiana Lavrova
テチアナ ラヴロワ
(チェロ)

Iana Lavrova
ヤーナ ラヴロワ
(チェロ)

Shigeji Wada
和田茂士
(バリトン)

Yoshihito Shikanai
鹿内芳仁
(テノール)

Henna Mun
ヘナ・ムン
(ソプラノ)

Tokyo Universal Philharmony Orchestra

2022年12月01日(木)
東京芸術劇場コンサートホール

18:00 開場 / 19:00 開演

料金 : SS 14,000 / S12,000 / A 10,000 / B 7,000 / C 5,000

全席指定席(税込)

主催 : Life & Sound Concert 実行委員会

制作協力 : ハシモト・コーポレーション株式会社

後援 : 国立音楽大学附属中学高等学校同窓会

協力 : NPO 日本ウクライナ友好協会 KRAIANY

チケット販売 <https://t.pia.jp/classic/>
(Pコード: 231340)

チケットのお申し込み イベントサイト
<https://www.life-sound-concert.com/>

Sumi Jo
スミ・ジョー(ソプラノ)

Henna Mun ヘナ・ムン(ソプラノ)

鹿内芳仁(テノール)

和田茂士(バリトン)

ウクライナ・チェロ奏者:

Tetiana Lavrova

テチアナ ラヴロワ(チェロ)

Iana Lavrova

ヤーナ ラヴロワ(チェロ)

指揮: 松岡 究

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

スミ・ジョー Sumi Jo (ソプラノ)

(ジョ・スミ)

ソウル大学音楽部卒業後イタリア・サンタチエリア音楽院卒。

イタリアのサンタチエリア音楽院卒。

1993年イタリアにて最高のソプラノ歌手に授与される La solo d'oro(黄金雁賞)を受賞

同年、リヒャルト・シュトラウス「影のない女」では、グラミー賞受賞

2008年ブツチーニ生誕150周年記念では、ブツチーニ賞受賞

国際舞台ではニューヨーク・リンカーンセンター、ウイーン、香港、日本、等数多く出演をしている。

スミ・ジョーが国際的に知られるきっかけは、巨匠カラヤンが最晩年に録音（1989年）したヴェルディの歌劇「仮面舞踏会」のオスカル役への抜粋からであったに違いない。

社会貢献にも大きな支援をしユニセフ・赤十字など慈善コンサートにも参加をし「平和芸術家」である。

2020年には、コロナ感染症の犠牲者を追悼し、コロナからの克服を願って、フェデリコ・バチヨティとジョバンニ・アレヴィ（作曲・ピアノ）の「ライフ・イズ・ミラクル」をシンプルでリリースし、動画も配信している。

今回のコンサートではウクライナ支援が掲げられているが、韓国の歌「川を越えて春が来るよう」を歌う。そこで述べられる春がやってくることを望むきものは、感染症収束への思いに繋がる、また、ウクライナの戦禍の終息や平和への願いでもある。朝鮮半島や日韓の関係の未来への希望を託す歌と聞く事にもできる。

約40枚のソロ・アルバムを発売し世界中を飛び回るスミ・ジョーは、まさに「世界の歌姫」として限りない活躍をされるのがわかる。



スミ・ジョー

ヘナ・ムン Henna Mun (ソプラノ)

マッキール大学シユリツチ音楽学校卒。現在イギリス王立音楽大学院在籍中

Mus.performance 声楽部門優秀功労賞、カナダマッキール大学学部賞（オペラ部門）、

グーリン・ガポール記念賞・パート・ワールド賞、バジル・コールマンオペラ賞などで1位受賞。等在学中の多くの受賞を得ている。

2022年6月には、Les nuits d'ete をRCMシンフォニー・オーケストラとの共演。

英国ケンブリッジでは、ヴィヴァルディの「プローリア」とヘンデルのメシアの為のソロとして公演。

RCMオペラスタジオにてパバゲーナと露の妖精、今後、世界で活躍する若手ソプラノ歌手。



テチアナ・ラヴロワ Tetiana Lavrova

ウクライナ国立ピュートル・チャイコフスキ音楽院卒業。ボリス・リヤトシンスキー国立クラシック音楽アンサンブル（ビクター・イコニック指揮）第一チェリスト（ソリスト）を務めた。キーウ室内管弦楽団（ローマン・コフマン指揮）にて演奏。1996年よりウクライナ国立歌劇場のチリストとなる。また、歌劇場での活動の傍ら、アンサンブル・ギーフスカ・カメラーダで全国演奏活動。2004年マチエーラ・オペラフェスティバルに参加。リツカルド・ザンドナーのオペラ「フランチエスカ・ダ・リミ」ソリストとして演奏。ピエール・ランティエ室内楽コンクールにて第2位受賞。ウ"オロティイーミール・パンテレーフ（Volodymyr Pantaleev）に師事。2022年4月より日本在住。

ヤーナ・ラヴロワ Yana Lavrova

コンセルヴァロワール・ロツシニ音楽院（イタリア・ベーザロ）卒業。オーケストラ奏者としてオーケストラ・アルテアトロレジオ・ティ・バルマ、オーケストラ・シンフォニカG・ロツシニ、オーケストラフィラルモニカ・マルキジヤーナ等で演奏活動。室内楽奏者としてホーメル・ペラルーシ、アカデミック・コンテンポラリーミュージック国際フェスティバル「Farbtony」（カニウ、ウクライナ）「21世紀の芸術」（ウ"オーセル、ウクライナ）、ウクライナ、ジュリ・ソリストとして活躍、若い音楽家に為の国際コンクール「Luigi Zanuccoli」（ベザロ・イタリア）第3位受賞。ボランスキー・ギンフを慕んでウクライナ全国大会にて優秀な成績を収めた。クラウディオ・カサティ（Claudio/Casadei）師事・ウォロティイーミール・パンテレーフ（Volodymyr Pantaleev）マスタークラスに参加。2022年4月よりチエロ奏者の母親と日本在住。

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

1973年に結成された日本新交響楽団を前身として、1997年に「東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団」と改称し、

同年4月「第一回定期演奏会」を開催。

定期演奏会・名曲コンサートなどの自主公演も100回を数え、名曲のより質の高い演奏でクラシック音楽愛好家の支持を得ている。

大田区での「初夢コンサート」21回を数え、目黒区芸術振興財団共催で「親子のためのふれあいコンサート」を毎年開催するなど、地域に根付いた活動を積極的に展開している。

2009年に文化庁主催による「舞台芸術の魅力発見事業」「子どものための優れた舞台芸術体験事業」の依頼を受け、九州・沖縄の各県において多数の公演を行った。

【歌心】と【未来からの使者たちへ】をテーマに音楽鑑賞教室に力を入れて、年間数万人の児童生徒にオーケストラ演奏の感動の輪を広げている。

オペラ公演では、東京オペラ・プロデュース、日本オペラ振興会、ミラマーレオペラ、渋谷シティ・オペラ等で高い評価を得ている。

公益社団法人日本オーケストラ連盟会員。



NPO 日本ウクライナ友好協会 KRAIANY

<http://www.kraiany.org>

在日ウクライナ人コミュニティ「Kraiany」は、2000年に設立されました。

国際交流を目指す各種団体と在日ウクライナとのコミュニケーションを持ち平和を目的とした支援団体です。

ウクライナの戦禍での現状には必要とする物資が限りなくあります。支援をして下さる皆さんの寄付金は、直接、現地に送り透明性を表記する為、定期的に皆様には報告をさせて戴いております。

今回、ウクライナ人チエロ奏者の演奏公演により是非ウクライナの古き音楽を楽しんで戴きたく思います。

また、ウクライナの詩人であるボグダン・パブリー氏の詩集「あなたの家がどこかに残るよう」は、Life & Sound Concert 実行委員会のホームページで購入ができます。

<http://www.life-sound-concert.com/>

和田茂士 ワダ・シゲシ (バリトン)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。「フィガロの結婚」フィガロ役でオペラデビュー。

イタリア・ミラノにてコンサート活動「ドン・ジョバンニ」「天国と地獄」のジュピター、

「レフイエム」「蝶々夫人」シャープレス等、幅広い役柄で好評を得ている。東京スカイツリー完成記念・両国国技館に於いてベートーベン祝祭劇「歎堂式」で出演。

玉川大学芸術学部講師・国立音楽大学附属中学・高等学校講師。



鹿内芳仁

和田茂士